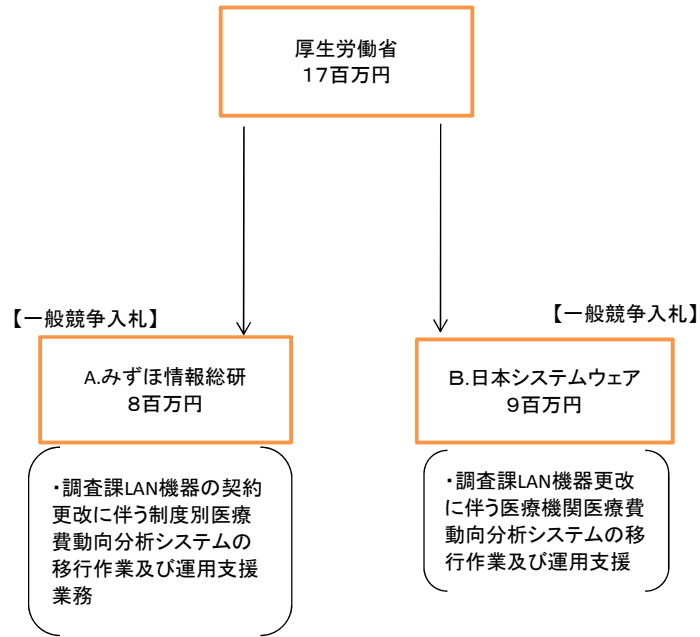


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)									
事業名	医療費供給面統計システム			担当部局庁	保険局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度			担当課室	調査課			村山 令二	
会計区分	一般会計			施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	統計法第19条			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療費の動向を把握し、制度改正や診療報酬改定等の医療保険行政の政策決定の際の基礎資料とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療供給サイドからの医療費データを収集し、体系的に管理することにより、医療機関の種類、規模、特性別や制度別、被保険者・被扶養者別等に医療費動向を分析する。制度改正や診療報酬改定等の医療保険行政の政策決定の際の基礎資料を得る。								
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		補正予算							
		繰越し等							
		計	73	66	42	46	63		
	執行額		83	37	17				
	執行率(%)		113%	56%	40%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	医療費データに基づく医療費動向の集計・分析、公表			成果実績	種類	2	2	2	2
				達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	医療費データに基づく医療費動向の集計・分析、公表			活動実績 (当初見込み)	種類	2	2	2	—
						(2)	(2)	(2)	
単位当たりコスト	8,500,000(円/分析)			算出根拠	X(執行額 17,000,000円) / Y(2種類)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	システム開発費	46	63	医科レセプト集計システムの構築・拡充による増					
	計	46	63						

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		医療費分析や医療保険各制度の事業状況報告等の集計・分析を行い、制度改正、診療報酬改定等の企画・立案の資料等に活用。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		本システムにより作成される医療費の動向調査は、統計法上の統計調査（一般統計）となっている。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		システム開発等については、一般競争入札による落札方式により業者を選定しているため。
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		システム開発等については、一般競争入札による落札方式により業者を選定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		一般競争入札による落札方式によりコスト削減に努めている。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		－
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		成果実績が目標に達しており実効性の高い手段となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		毎年設定している目標を着実に達成している。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		見込みに見合った実績となっている。
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		－
		※類似事業名とその所管部局・府省名		－
点検結果	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		医療費分析や医療保険各制度の事業状況報告等の集計・分析を行い、制度改正、診療報酬改定等の企画・立案の基礎資料等に活用。
		医療費データに基づく医療費動向の集計・分析については、制度改正や診療報酬改定等の医療保険行政の政策決定の際の基礎資料であるため、今後とも必要な経費である。 契約手続きについて、随意契約から一般競争入札に変更するなど、予算執行の適正化に努めてきたところである。 今後も、法律改正等に伴う各統計・調査システムのシステム開発について、効率化・予算等を重視した開発に取り組む。		
予算監視・効率化チームの所見				
現状通り		本事業の必要性の観点からの評価は概ね妥当である。引き続き必要な予算措置に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
現状通り		－		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
－				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	280	平成23年行政事業レビュー	250	

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.みずほ情報総研			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	調査課LAN機器の契約更改に伴う制度別医療費動向分析システムの移行作業及び運用支援	4			
	雑役務費	医療機関医療費動向分析システムの機能追加	4			
	計		8	計		0
	B.日本システムウェア			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	調査課LAN機器更改に伴う医療機関医療費動向分析システムの移行作業及び運用支援業務	9			
	計		9	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.みずほ情報総研

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研	調査課LAN機器の契約更改に伴う制度別医療費動向分析システムの移行作業及び運用支援業務	4	1	92.0%
2	みずほ情報総研	医療機関医療費動向分析システムの機能追加	4	4	28.2%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.日本システムウェア

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本システムウェア	調査課LAN機器更改に伴う医療機関医療費動向分析システムの移行作業及び運用支援業務	9	2	43.2%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					